

目次

まえがき

第一章 月 天

第一節	薬師如来	10
第二節	方 法	19
第三節	月と兎	26
第四節	月と水	35
第五節	不死の靈液	43
第六節	豊饒の女神	54
第七節	呪術から宗教へ	64

第二章 観音

第一節	観音とはなにか	70
第二節	観音の功德	74
第三節	観音のセックス	79
第四節	観音の持物——団子	89
第五節	観音の持物——蓮華	95
第六節	女神としての観音	109
第七節	女神	122
第八節	補陀洛	127

第三章 聖天

第一節	聖天信仰の伝来	132
-----	---------	-----

第二節	聖天とはなにか	134
第三節	聖天の功德	140
第四節	聖典にみられるガナパティ	144
第五節	誡那鉢底の持物	151
第六節	ガナ・サンガ	156
第七節	象頭と騎鼠	170
第八節	象族と鼠族	180
第九節	双身毘那夜迦	185

第四章 明王

第一節	怒れる神々	194
第二節	明王の意味	199
第三節	呪文の王者	204
第四節	成就法	214

第五節	大威徳明王……………	219
第六節	明王の史的背景……………	228
第七節	ダモーダランの所説……………	240
第八節	軍荼利明王……………	246

索引

装幀 大賀匠津